

されていることから、消火設備等の防災施設の設置、地区全体のシロアリ駆除、危険な石垣の積み直しなどの対策が計画的に進められます。

これらにより、伝統的な景を維持しながら、時代に合わせた安全で快適な生活環境の整備が行われます。

買い上げ整備

保存地区内の土地や建築物のうち、緊急に保護する必要があるものについては、市町村が保存活用計画を検討して買い上げ、公開施設、案内施設、交流施設などとして整備しています。

税の優遇措置

国税では、土地の地価税の非課税、伝統的建造物と敷地について相続税の減免措置があります。地方税では、伝統的建造物の固定資産税は非課税、伝統的建造物及び伝統的建造物以外の建築物等の敷地にかかる固定資産税は、免除又は軽減されます。

全国の重伝建地区のまちづくり活動

重伝建地区では、住民の長年のまちづくり活動が実り、美しい伝統的な町並みが保存・整備され、全国有数の観光地になり、海外からも高く評価されているところが少なくありません。

日本の町並み保存の草分けである長野県の妻籠では、昭和43年に「妻籠を愛する会」が結成されました。妻籠宿を中心に周辺の地域も含めた全戸を網羅する住民組織で、現在も重伝建地区と地域全体の景観保全に努めています。

その特徴は、「売らない」、「貸さない」、「こわさない」の3原則を住民憲章に定めて、家屋の補修などには、妻籠を愛する会の統制委員会に届け出て、町の保存審議会からの許可を受けてから実行するという自己ルールを守っている点にあります。

さらに、防火態勢の整備、伝統的な板葺・石置き屋根の葺き替えなどを住民の共同作業で行い、「文化文政風俗絵巻之行列」も創作。次世代への継承に

も熱心に取り組んでいます。

沖縄県竹富島では、集落が重伝建地区に選定され、赤瓦



の家並みと石垣が美しく守られています。

ここでは、住民全員が参加する知縁団体法人「竹富公民館」が結成され、「売らない・汚さない・乱さない・壊さない・生かす」の5原則をもつ「竹富島憲章」が守られています。白いサンゴ砂の道を毎朝清掃するのも住民の活動です。

京都府南丹市美山町の北集落は平成5年に重伝建地区に選定されました。ここでも、「かやぶきの里保存会」が結成され、かやぶき集落の保全のために「かやぶきの里憲章」を定めています。

本格的まちづくりへのスタートライン

重伝建地区の住民団体の主体的な活動をまとめると、次のような内容になります。

- ① 地区の価値について住民の正しい理解の推進
- ② 住民憲章等による地域の意思の確認と見直し
- ③ 地区の未来図を描くことによる乱開発の防止と地域主体の経済活動の実施
- ④ 交流者の適切な受け入れ、価値の解説および歴史的体験の提供
- ⑤ 高校生、大学生、若い世代に対する理解の促進
- ⑥ 空き家の活用計画に基づく改修、移住者の受け入れなど

住民にとって重伝建地区の選定は、ハードを伴う本格的なまちづくりのスタートラインといえるのです。
(文責：堀部 栄次)

NPO法人 彦根景観フォーラムのご案内

彦根景観フォーラムは、まちの景観づくりを楽しむNPOです。大学教員、建築家、市民、商店主、公務員などが集まり、知恵と力を合わせて活動しています。様々な情報を事務局までお寄せ下さい。

● **ブログ** <http://hikone-keikan.seesaa.net/>

● **定例会** 毎月第3金曜日 午後7時～9時 滋賀大学陵水会館 誰でも自由に参加できます。

● **お問合せ**：彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968 FAX 0749-27-1431

E-mail: hikonekeikan@hotmail.com まで



きらっと彦根 vol.44

彦根の魅力 ★ 再発見

彦根まちづくり誌 2016年7月10日 通巻44号 編集/発行 NPO 法人 彦根景観フォーラム

彦根景観フォーラム総会を開催

NPO法人彦根景観フォーラムは、平成28年7月2日、多賀里の駅一圓屋敷で平成28年度総会を開催しました。平成27年度事業報告、収支決算を承認するとともに、平成28年度事業計画、予算を決定しました。

平成28年度計画では、河原町芹町地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定されることが決まったことから、地区の人々や彦根市と連携して記念シンポジウムを11月に開催する企画が承認され、これに関連してこの地区のまちづくりの経過を記録としてまとめる必要があることが議論されました。

また、資産として大きな比重を占める多賀「里の駅」を活用し、経営的自立を図る研究を進めることも盛り込まれました。



7月2日(土) 多賀里の駅一圓屋敷の集い

劇的ビフォーアフター・日本庭園の再生

一圓屋敷には、小さいながら池を備えた本格的な日本庭園があります。7月2日(土)の多賀里の駅一圓屋敷の集いは、堀部 栄次さん(彦根景観フォーラム副理事長)達が取り組んだ一圓屋敷庭園の再生の物語でした。

昨年7月には、庭木が繁茂する状態でしたが、1

年後には、庭石や灯籠が見えるようになり、広さや奥行きが感じられるようになりました。

縮景、借景、樹芸、さびなどの日本庭園に特有の技法、狭い庭に奥行きと美しさを感じさせる不等辺三角形の型、巧みな視線の誘導方法などが紹介されました。

庭木の剪定では、4つの基本方法を聞いたあと、前庭で簡単な実演がありました。

12時からのランチは、夏野菜の揚げ出しや冷たいラタトゥウが暑い季節にぴったりの料理でした。



平成27年7月



平成28年6月



多賀里の駅「おばあちゃんの家の夏休み」

8月6日(土) 9時~15時30分

多賀里の駅一圓屋敷

多賀幼稚園保護者サークル「ぶらんこ」の紙芝居、カロム、けん玉、お手玉、サワガニつかみ、紙鉄砲づくり、似顔絵描きなど。お昼は、夏野菜カレー、コロッケなどを用意しています。親子でどうぞ。

特集:河原町芹町地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定